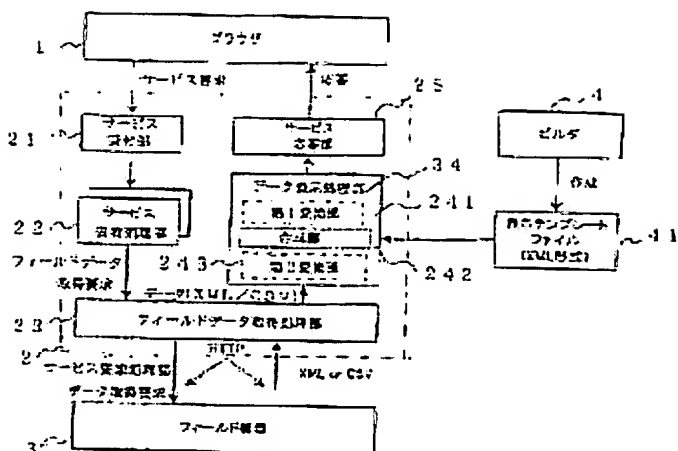


## Patent Abstracts of Japan

TITLE : DATA DISPLAY METHOD AND DEVICE THEREFOR



COPYRIGHT: (C)2002,JPO.

BEST AVAILABLE COPY

(11)特許出願公開番号  
特開2002-116948  
(P2002-116948A)

(43)公開日 平成14年4月19日(2002.4.19)

(51)Int.Cl.		識別記号	F I	ページ(参考)	
G 0 6 F	12/00	5 4 6	G 0 6 F	12/00	5 4 6 A 5 B 0 6 9
	3/14	3 1 0		3/14	3 1 0 E 5 B 0 7 5
	3/153	3 3 0		3/153	3 3 0 A 5 B 0 7 6
	9/44			13/00	5 5 0 B 5 B 0 8 2
	13/00	5 5 0		17/30	1 1 0 F
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 7 頁) 最終頁に続く					

(21)出願番号 特願2000-308802(P2000-308802)

(22) 出願日 平成12年10月10日(2000. 10. 10)

(71) 出題人 000006507

横河電機株式会社

東京都武蔵野市中町2丁目9番32号

(72) 究明者 北村 光

東京都武蔵野市中町2丁目9番32号 横河  
電機株式会社内

Fターム(参考) 5B069 AA01 BA01 BA04 BB16

53075 PG02

5B076 DF08

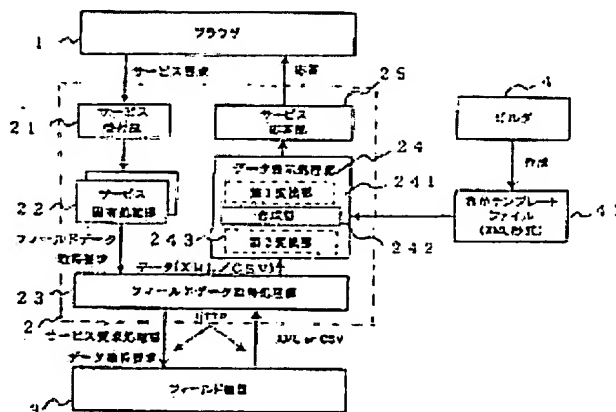
5B082 AA01 GA07

(54) 【発明の名称】 データ表示方法およびその装置

(57) 【要約】

【課題】データソース毎に通信プロトコルとデータフォーマットが異なっているので、新しいサービスを追加したり未サポートのフィールド機器をサポートする場合に、各データソースのプロトコルの実装とデータフォーマットの解析を行なうことが出来る高度なスキルと多大な時間が必要になるという課題を解決する。

【解決手段】データソースとサービス要求処理部との間の通信プロトコルに標準規格のプロトコルを使用し、XMLが提供されているデータ形式またはフォーマットデータが提供されているデータ形式でデータを伝送するようにした。



X形式のときはそのまま表示するように変換して前記ブラウザに出力するようにした。XSLが提供されていないXML形式やデータフォーマットが提供されていないCSV形式でも表示できるという効果がある。

【0050】また、XSLやデータフォーマットが提供されている場合は、異なるフィールド機器のデータを結合した表示が簡単に出来るという効果もある。

【0051】請求項7記載の発明によれば、請求項4ないし請求項6の発明において、サービス要求処理部でデータソースから得られたデータと表示テンプレートファイルを合成してブラウザに出力するようにした。定型の表示を簡単に実現することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す構成図である。

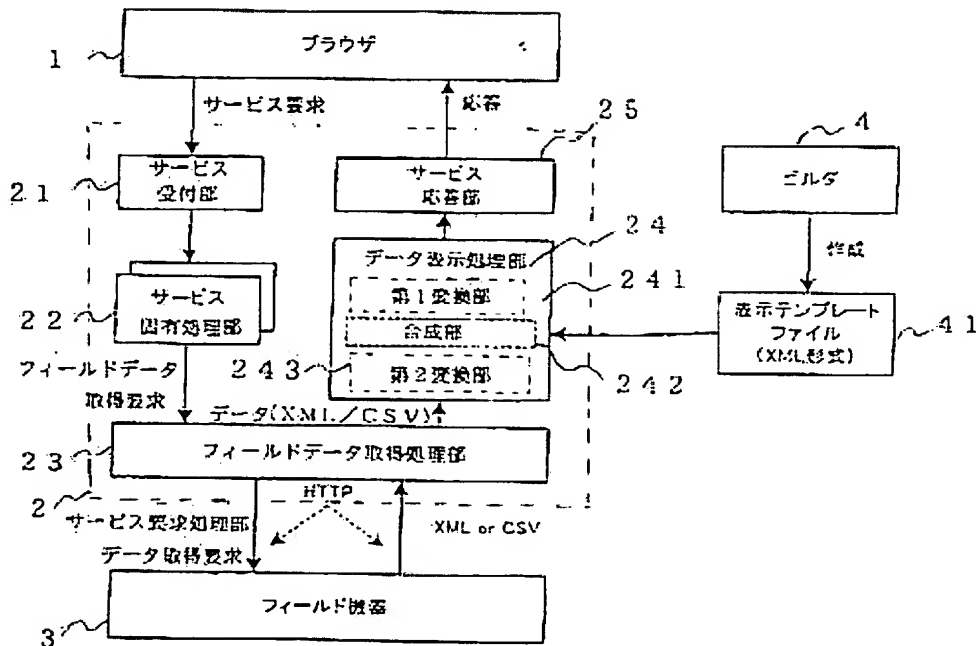
【図2】本発明の他の実施例を示す構成図である。

【図3】従来のデータ表示システムの構成図である。

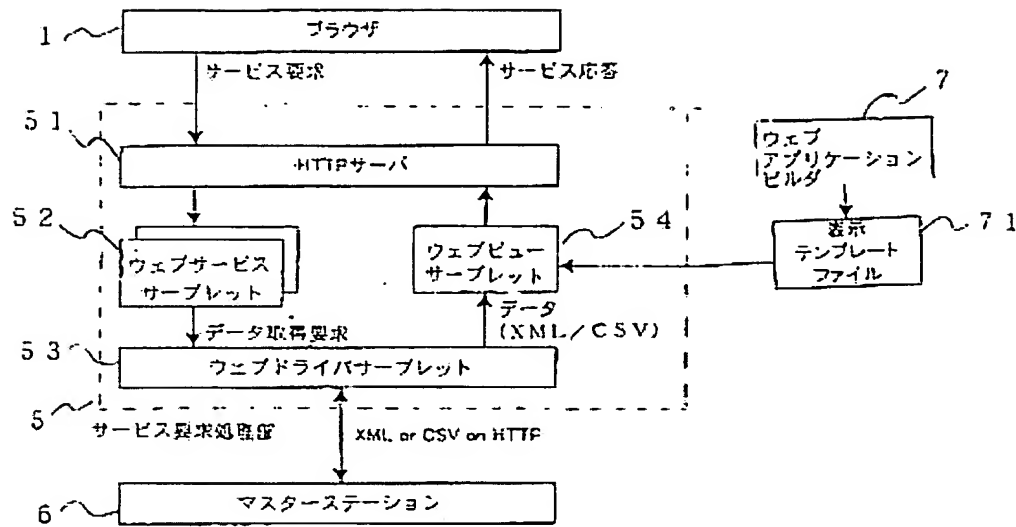
【符号の説明】

- 1 ブラウザ
- 2 サービス要求処理部
- 2.1 サービス受付部
- 2.2 サービス固有処理部
- 2.3 フィールドデータ取得処理部
- 2.4 データ表示処理部
- 5 フィールド機器
- 4 ビルダ
- 4.1 表示テンプレートファイル
- 5 サービス要求処理部
- 5.1 HTTPサーバ
- 5.2 ウェブサービスサブレット
- 5.3 ウェブドライバサブレット
- 5.4 ウェブビューサブレット
- 6 マスタステーション
- 7 ウェブアプリケーションビルダ
- 7.1 表示テンプレートファイル

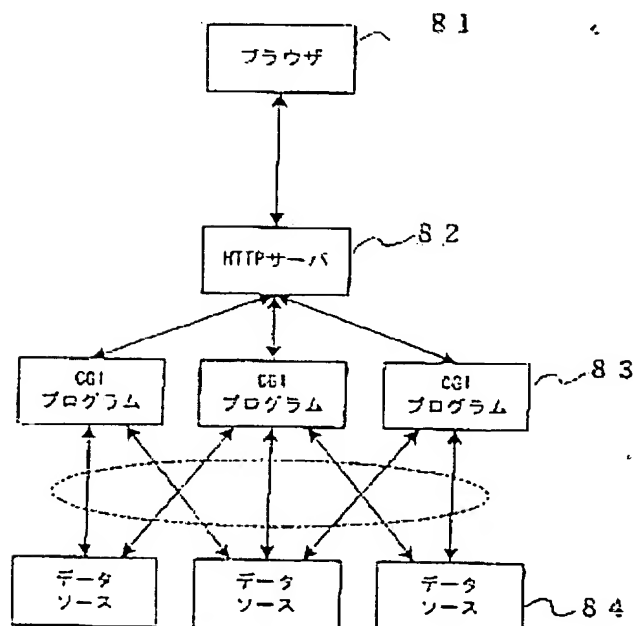
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 17/30識別記号  
110  
380F I  
G 0 6 F 17/30  
9/06

特許庁 (参考)

3802  
6200